



Displaced - unknown hardship of **Syrian refugees** -
Yoshifumi Kawabata Photo exhibition

2021.11.26 Fri ~ 11.28 Sun 10:00 ~ 18:00 (最終日 16:00 まで)

千葉市中央区中央2-5-1 千葉中央ツインビル2号館 入場無料

令和3年度文化芸術普及事業 新人賞サポートプログラム 第19回千葉市芸術文化新人賞受賞





シリアの内戦が始まり今年で10年が経過しました。イスラム国の台頭、米国主導の有志連合軍やロシア軍の介入などで内紛は泥沼化しましたが、最近になりほぼ全土を国軍が掌握、アサド政権による反政府勢力のスクリーニング（洗い出し）が行われています。国民への抑圧は強まるばかりです。

内戦によって避難生活を送る人々の数は1100万人にのぼりました。紛争前の同国の人口が約2240万人だから、およそ半数が家を追われたこととなります。国外に逃れた人々は500万人を超え、トルコには300万人以上が暮らしています。私は2012年以降、トルコやシリア、時にはギリシャを訪れ取材させていただきました。

私が撮影する対象は、多くが難民や社会的弱い立場にある人々です。一般的に、ネガティブな表現方法が彼らの抱える問題や悩みをより強く訴える効果があるかと思われがちです。しかし、写真というツールの芸術性を駆使し、彼らを美しく捉える手法があっても良いのではないかと考えております。困難な状況にいる人々をこれまでとは違った方向から切り撮ることによって、受け手側は新たな印象を抱くことができるのではないのでしょうか。写真表現を通して、考えるきっかけを提供することができれば幸いです。



川畑嘉文
 1976年 千葉県千葉市に生まれる
 ペンシルベニア州立大学卒業。専攻は国際政治。卒業後、ニューヨークのニュース社に記者として勤務。9.11の取材をきっかけに写真を撮り始める。2002年、米軍侵攻後のアフガニстанを取材。帰国後、東京の撮影事務所にて写真技術を学んだのち、2005年フリーランスとなる。以降、世界中の難民キャンプや貧困地域、自然災害の被災地で取材を行い、雑誌や新聞等に写真と原稿を寄稿している。

- 2021 第19回千葉県芸術文化新人賞
- 2019 IFJ(国際ジャーナリスト連盟)日本賞 2018 奨励賞
- 2017 DAYS 国際フォトジャーナリズム大賞パブリックプライズ賞
- 2017 第42回 JPS(日本写真家協会)展 優秀賞
- 2016 第17回上野彦馬賞 九州産業大学賞
- 2014 第39回 JPS(日本写真家協会)展 金賞 etc

著書
 フォトジャーナリストが見た世界 (新評論)
 フォトジャーナリストが撮った世界の現実 (新評論)



会場：千葉市中央区中央2-5-1
 千葉中央ツインビル2号館

主催・お問い合わせ：(公財)千葉県文化振興財団 043(221)2411 <平日 9:00 ~ 17:00>

共催：千葉市 後援：千葉市教育委員会